

【技術の名称】 異形鉄線溶接金網「トーアミCDメッシュ」重ね継手・定着工法（改定2）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第07-16号 改2 性能証明発効日：2021年1月27日 【取得者】 株式会社トーアミ
--	---

【技術の概要】

本技術に用いるトーアミ CD メッシュは、JIS G 3551（溶接金網および鉄筋格子）に適合し、かつ、特別管理によって溶接点せん断強さ（ $250\text{N}/\text{mm}^2$ 以上）を確保した株式会社トーアミが製造する異形鉄線溶接金網である。本技術は、鉄筋コンクリート床スラブに用いるトーアミ CD メッシュの重ね継手および端部定着の設計、施工法である。本技術の特色は、配筋工事の施工性向上を意図し、溶接金網の重ね継手部および端部定着部において直交方向の鉄線を取り除いても、異形鉄線の付着作用により継手強度および定着強度を確保できる点である。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第07-16号（2007年9月4日）

改定1：GBRC 性能証明 第07-16号 改（2009年5月12日）

- ・適用範囲の追加（合成スラブへの適用可）

改定2：GBRC 性能証明 第07-16号 改2（2021年1月27日）

- ・適用範囲の追加（軽量コンクリートを使用材料に追加）
- ・適用範囲の追加（設計基準強度の適用下限を $18\text{N}/\text{mm}^2$ に拡大）

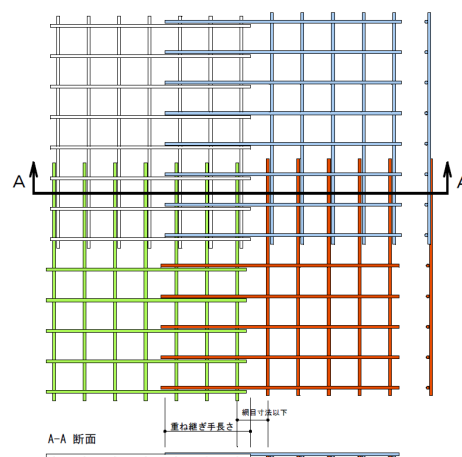
【技術開発の趣旨】

溶接金網を用いた床スラブの現行の設計法は、丸鉄線を用いた溶接金網の使用を前提にしたものであり、リブを有する異形鉄線の付着効果を評価していない。本技術は、この点に着目し、異形鉄線を用いた利点を発揮できるように開発したものである。

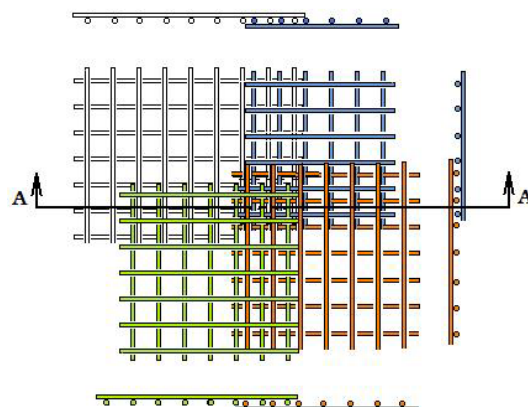
【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「異形鉄線溶接金網「トーアミCDメッシュ」重ね継手・定着工法 設計・施工要領書」に従って設計・施工される鉄筋コンクリート床スラブおよび合成スラブにおけるトーアミCDメッシュの重ね継手部および端部定着部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れを発生せず、トーアミCDメッシュがJIS G 3551に規定する規格最小引張降伏点に達しても付着破壊を起こさない。



「トーアミ CD メッシュ」の重ね継手例



A-A 断面

丸鉄線を用いた「溶接金網」の重ね継手例

溶接金網の重ね継手部および端部定着部において直交方向の鉄線を取り除いても、異形鉄線の付着作用により継手強度および定着強度を確保でき、直交方向の鉄線を除くことにより、RC 規準に示されている丸鉄線を用いた溶接金網に比べ、重ね継手部および端部定着部の鉄線段数の削減が可能となり施工性も改善される。

【本技術の問合せ先】

株式会社トーアミ

担当者：永濱 勇二

E-mail：nagahama@toami.co.jp

〒630-0142 奈良県生駒市北田原町 1592-3

TEL：0743-70-1733

FAX：0743-70-1722